

① 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。解答に字数の指定がある場合は、句読点やかっこなどの記号も字数として数えます。(設問の都合上、原文の一部を省略しているところがあります。)

子供の頃、私は虫が大好きな昆虫少年だった。最初は蝶。捕虫網を握りしめて、じつと目当ての蝶が飛来するのを待った。また別のあるとき、目を皿のようにしてミカンの葉の裏に産みつけられたアゲハチョウの卵を探した。

蝶への興味はやがてもっと硬質の美しさへの希求にとつてかわる。あこがれたのはルリボシカミキリだった。小さなカミキリムシ。でもめったに採集できない。その青色は、どんな絵の具をもってしても描けないくらいあざやかで深く青い。こんな青は、※フェルメールだって出すことはできない。その青の上に散る斑点は真つ黒。高名な書家が、筆につややかな漆を含ませて一気に打つたような二列三列の見事な丸い点。大きく張り出した優美な触覚にまで青色と黒色の互い違いの文様が並ぶ。私は A を殺してずつとその青を見つづけた。

君が好きなのが、たとえば鉄道だってそれは全然かまわない。君はきつと紙の上に点と線を書きつけて路線図を描くだろう。山手線だろうが常磐線だろうが駅名はいつの間にかすべてすつかり※そらんじている。そのうち君は、ある鉄橋を渡る列車の写真を撮るために、地形図や時刻表を丹念に調べはじめ。鉄道の歴史や廃線のあとを知るため図書館に行つて本や資料を探す。

図書館の書庫に降りて、本棚の隅にようやく探していた本を見つける。開くと埃の匂いがする。そこに貼られていた貸し出し票の日付印。なんと君は十年ぶりの借り手だ。誰にも読まねず書庫の檻のなかに眠っている本。それを今、君が手にする。①なんとなくうれしくなる。それは君がちゃんと道を踏んでいく確かな証だ。十年前、この道をたどった誰かと同じように。

あるいは君は、ある日の夕方、ふと空を見上げると沈みかけた夕陽に照らされてたなびく雲が流れてゆくのを眺めるときがある。ちぎれた細い雲の先の空は、もう群青色におおわれて、青がすつかり濃くなっている。そこに君は小さな星がまたたいているのに気づく。またたく星は、風にかきけられそうだけど、わずかな輝きが失われることがない。でもその光は果てしなく遠くにある。君はその時の、②そんな気持ちを忘れないでいてほしい。それは時を経て、くりかえし君の上にあられる。それはいつか読んだ小説の中にもあったし、山崎まさとしの歌の中にもある。あるいは一千二百年前の万葉集の中にも。調べる。行つてみる。確かめる。また調べる。可能性を考える。実験もしてみる。失われてしまったものに思いを馳せる。耳をすませる。目を凝らす。風に吹かれる。そのひとつひとつが、君に世界の記述のしかたを教える。

私はたまたま虫好きが、高じて生物学者になつたけれど、今、君が好きなのがそのまま職業に通じる必要は全くないんだ。大切なのは、何か一つ好きなことがあること、そしてその好きなことがずつと好きであり続けられることの旅程が、驚くほど豊かで、君を一瞬たりともあきらめさせることがないということ。そしてそれは静かに君を励ましつづける。最後の最後まで励ましつづける。

ルリボシカミキリの青。その青に震えた感触が、私自身のセンス・オブ・ワンダーだった。その青に B をのんだ瞬間が、③まぎれもなく私の原点である。私は虫を集めて何がしたかったのだろう。それは今になるとよくわかる。フェルメールでさえ作り得ない青の由来を、つまりこの世界のありようをただ記述したかったのだ。

(福岡伸一 『ルリボシカミキリの青』)

- ※ 希求：強く願ひ求めること。
- ※ フェルメール：ネーデルラント連邦共和国の画家で、バロック期を代表する画家の一人である。
- ※ そらんじている：そらで覚える。暗しようする。
- ※ 嵩じる：より強くなる。
- ※ センス・オブ・ワンダー：ある種の不思議な感動。

問1 A と B には同じ語が入ります。漢字一字で答えなさい。

□

問2 ①「なんとなくうれしくなる。」とありますが、それはどうしてですか。本文中のことばを使って、四十五字以内で答えなさい。

問3 ②「そんな気持ち」とはどういう気持ちですか。その説明として最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 身近ななげないものに、目をこらしたり、耳をすませたりして、興味をもつ気持ち。
- イ 見上げた空の色や、星の輝きに目をむけるような、生活に余裕がある気持ち。
- ウ つまらないものばかりに目がいき、肝心なことに気をくぼることができないような気持ち。
- エ 嫌なことも、嫌いな者も、自然の中に入れば小さなことだと思えるような気持ち。

□

問4 ③「君に世界の記述のしかたを教える」と「この世界のありようをただ記述したかったのだ」について。

I ここで使われている「世界」と同じ例として最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 世界平和を目指す
- イ 僕達の世界へようこそ
- ウ 芸能の世界は狂ってる
- エ 漫画の世界は死んでも生き返る事が出来る

□

II 筆者のいう「世界の記述」とはどのようなことを指していますか。その説明として最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 好きなことを好きであり続けて、それについて調べ、確かめて、それを伝えようとする事。
- イ 好きなことの歴史を調べ、比較し、その違いをあきらかにしようとする事。
- ウ 普段では目に見えないようなものを、さまざまな実験と通じてあきらかにしていく事。
- エ 好きというきっかけで、それに関連する仕事につき、専門的に研究し続ける事。

問5 一線③「まぎれもなく私の原点である」とありますが、どうしてそういえるのですか。それを説明した次の文の（a）（b）に入ることをばを、本文中からそれぞれ漢字二字で抜き出さない。

ルリボシカミキリの深い青への不思議な感動から、その青色にとりつかれたときこそが、筆者が自分の一生の（a）を見つけた瞬間であり、筆者はたまたま、その後の（b）を決定づけるものとなったから。

B 次の①～⑤の各文を、文節に区切るといくつに分けられますか。例を参考にしてそれぞれ数字で答えなさい。

- 例 私は 紙飛行機を 飛ばした。
-
- ① 青い空に白い雲がうかぶ。
 - ② 大きな木に鳥が集まる。
 - ③ 一番星が夕方に光る。
 - ④ ソーダー水にレモンをうかべる。
 - ⑤ らくだの背中に乗ってみたい。

C ①～⑤の「ない」は、次のI・IIのどちらの用法と同じですか。それぞれ記号で答えなさい。

- I 無理もない
 - II 頭痛こそしていない
- ① 不思議ではない
 - ② かわいくない
 - ③ 間に合わない
 - ④ よくわからない
 - ⑤ 言葉をかかわしたこともない

II 次のA～Dの各問いに答えなさい。

A 例のように、左右のことが成り立つよう、a～cに入る漢字をそれぞれ答え、①～⑥の読みも答えなさい。

例 安 心 ↓ あんしん
 売り ↓ やすうり

a

② 占い
① 中

b

④ 者
③ 士

c

⑥ 毛
⑤ 花

c		b		a	
⑥	⑤	④	③	②	①

D 次の①～③の文中には誤った使い方があります。その部分をそれぞれ抜き出し、正しい言葉に直しなさい。

例 「先生は着物を着ますか。」 誤 着ますか
 正 おめしになりますか。

- ① 先生、明日は学校におりますか。
- ② 先生が申されたことは一生忘れません。
- ③ 先生、冷めないうちにいただいでください。

③		②		①	
正	誤	正	誤	正	誤

受験番号

2017年度 B-II選考 算数 その1

1 次の計算をなさい。

(1) $48 - (27 \div 3 - 5) \times 8 - 3 \times 5$

答

(2) $\left(1 - \frac{1}{5}\right) \times \left(1 - \frac{1}{6}\right) \times \left(1 - \frac{1}{7}\right) \times \left(1 - \frac{1}{8}\right) \times \left(1 - \frac{1}{9}\right)$

答

(3) $(0.25 \times 12 - 0.125 \times 8) \times 6 - \frac{5}{2} \div \frac{15}{26}$

答

2 次の各問いに答えなさい。

(1) 30人のクラスで算数のテストを行ったところ、全体の平均点は68点、男子18人の平均点は70点でした。女子の平均点は何点ですか。

答

 点

(2) KさんはIさんの2倍のお年玉をもらいました。Kさんが2000円、Iさんが1500円を使うとKさんとIさんの残りのお金は、3:1になりました。Kさんのお年玉はいくらかを求めなさい。

答

 円

(3) 3で割っても、7で割っても2余る3けたの整数で、最小のものと最大のものを求めなさい。

答

最小
最大

受験番号

2017年度 B-II選考 算数 その2

3 濃度 8%の食塩水 700g と濃度 2%の食塩水 300g があります。
次の各問いに答えなさい。

(1) 濃度 8%の食塩水にふくまれている食塩は何 g か求めなさい。
(式)

答 g

(2) この 2 つの食塩水を混ぜたら何%の濃度の食塩水ができるか
求めなさい。
(式)

答 %

(3) 濃度 8%の食塩水 700g に水を加え、濃度 6%の食塩水を作りました。
何 g の水を加えたか求めなさい。
(式)

答 g

4 次のように、ある規則にしたがって、分数を一行に並びます。次の
各問いに答えなさい。

$$\frac{1}{2}, \frac{1}{3}, \frac{2}{3}, \frac{1}{4}, \frac{2}{4}, \frac{3}{4}, \frac{1}{5}, \frac{2}{5}, \frac{3}{5}, \frac{4}{5}, \frac{1}{6}, \dots$$

(1) $\frac{2}{4}$ は 5 番目に並びます。 $\frac{5}{9}$ は何番目に並ぶか求めなさい。

(考え方)

答 番目

(2) 100 番目に並ぶ分数を求めなさい。

(考え方)

答

(3) 100 番目までの分数をすべて足すといくらになるか求めなさい。
(式)

答